

ご家族への報告書作成における 業務効率化と時間削減

ライフケアガーデン熱川

チーム名：AIのメモリー

- ◎岩崎 航太 ○石居 孝幸
- ・梅原 春美 ・佐藤 麻里子
- ・竹内 司 ・山崎 智弘
- ・佐藤 昌幸 ・齋藤 美穂
- ・長谷川 千代



紹介

今回は
別館の事例

ライフケアガーデン熱川
別館・デイサービス・居宅



メンバー紹介



看護課

介護課

AIの
メモリー

営繕

事務

メンバー紹介



テーマの選定

テーマ \ 項目	部門方針	取組み易さ	緊急性	重要性	効果	点数
ペーパーレス化推進	○	○	○	◎	◎	19
報告書作成の時間短縮	○	○	◎	◎	◎	21
ご入居者つぶやき分析	○	△	○	◎	○	15
ご入居者×介護者笑顔相関関係	○	◎	○	○	○	17
ご入居者×職員の相性診断	○	△	△	○	◎	13

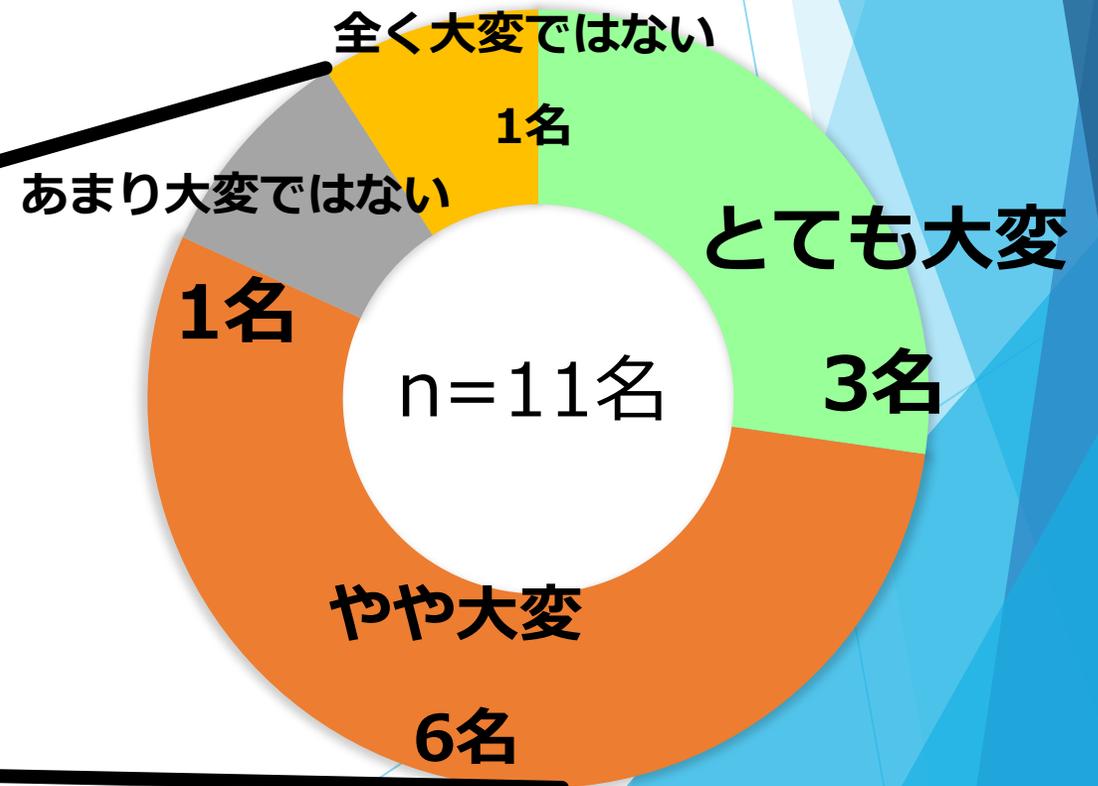
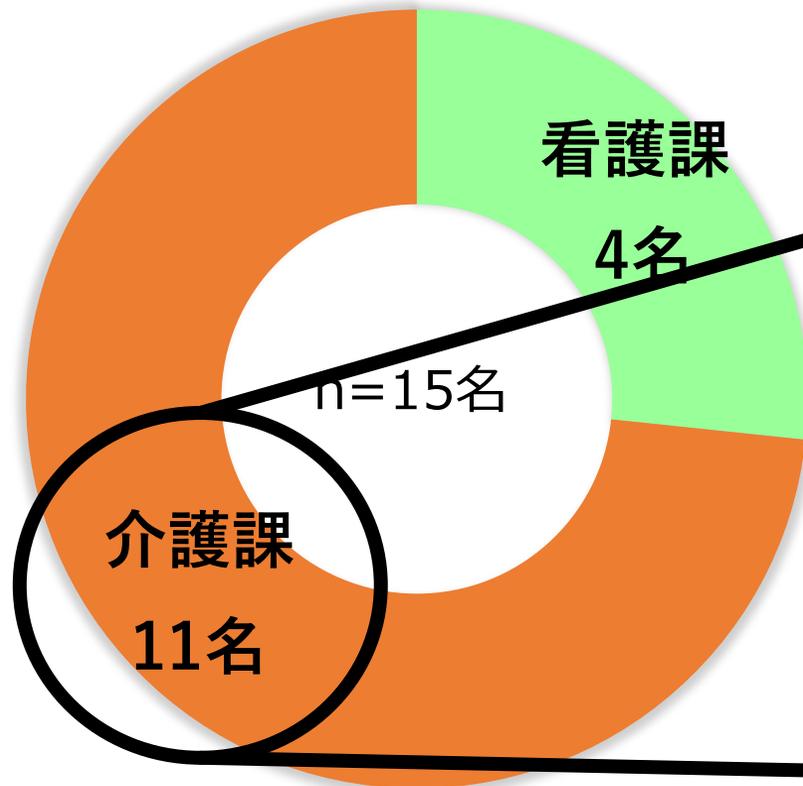
◎	5点
○	3点
△	1点

現状把握①

2025年2月時点

月次報告書の作成部署

月次報告書作成の負担感



現状把握②

ご家族に送付している「月次報告書」とは

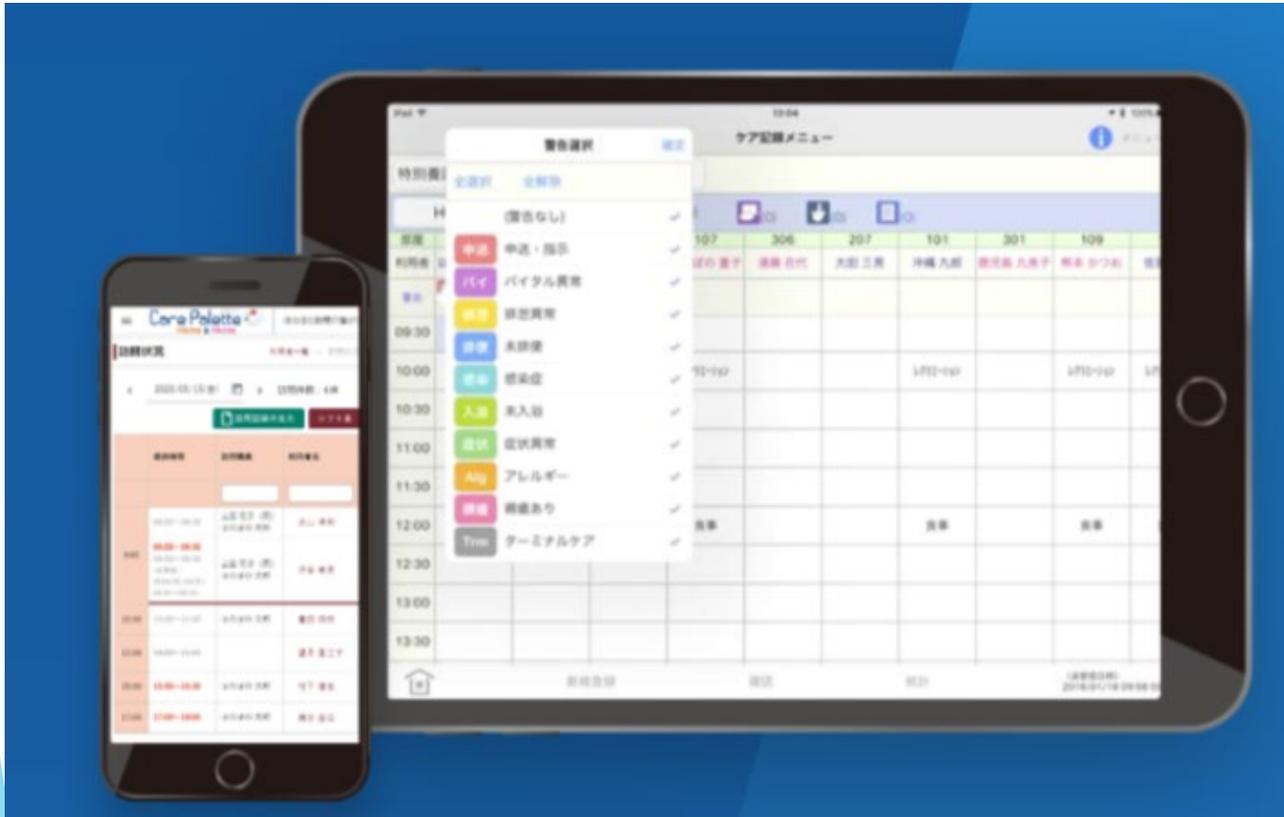
月次報告書				
ご入居者氏名		居室番号:		
既往症	①	ADL	移動	
	②		食事	
	③		排泄	
	④		他	
	⑤			
看護課				
介護課				
連絡事項				
記載者				
ご家族から				

全ご入居者のご家族へ毎月送る報告書

毎月の生活の様子、健康状態、受診経過などを記載し、別館入居者約40名分をパソコンで作成

現状把握③

介護ソフト『ほのぼの』とは



**看護介護記録を入力する
介護ソフト**

看護・介護職員がiPadで記録

**iPadの記録は2週間分のみ表示
それ以前の記録確認はパソコン
操作が必要**

現状把握④

月次報告書 作成工程

1名あたり約50分

看護

- バイタル記録等の見返し
- 入力作業
- 1名あたり約15分（月2回合計）



看護師長

- 入力内容の確認、修正
- 記載漏れの追加
- 1名あたり約5分

介護

- 生活記録等の見返し
- 入力作業
- 1名あたり約15分（月2回合計）



事務

- 誤字脱字の確認、修正
- 1名あたり約5分



介護チーフ

- 入力内容の確認、修正
- 記載漏れの追加
- 1名あたり約5分



ホーム長

- 記載内容の最終チェック
- 1名あたり約5分

目標設定

◎いつまでに・・・

2025年6月中旬までに

◎何を・・・

別館 介護課の月次報告書作成時間を

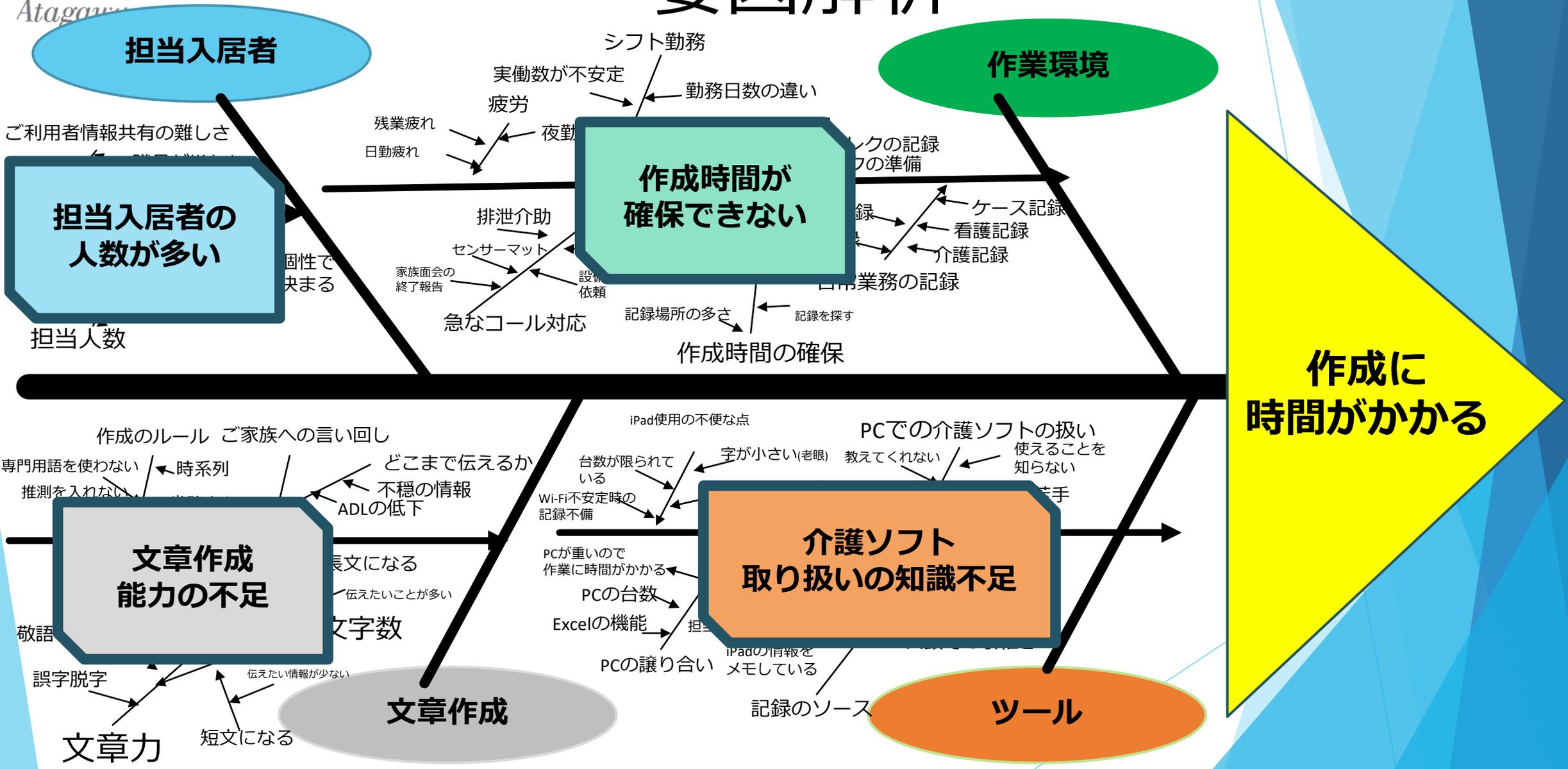
◎どのように・・・

1/3短縮する

根拠

**介護課で1名あたりの入力に約15分を必要としているため、
1/3にあたる約5分の短縮を目標とした**

要因解析



重要要因の検証

	重要要因	検証	結果	判定
①	担当入居者数が多い	担当している入居者数を確認	介護課は職員1名あたり4名以下	×
②	介護ソフト取り扱いの知識不足	使用状況を確認	iPadは操作できるが、PC版『ほのぼの』については対象職員11名中10名が機能を把握していなかった	○
③	文章作成能力の不足	アンケート実施 修正回数のカウント	記載情報の取捨選択に悩む職員は11名中9名 文章表現に悩む職員は11名中10名 誤字脱字、敬語・文法ミスなどは平均1.4ヶ所	○
④	作成時間が確保できない	アンケート実施 訪室対応数の確認	事務時間が確保されている職員は11名中2名のみ 訪室対応（コール対応含む）は1日平均320回	○

対策の立案

	重要要因	一次対策	二次対策	三次対策	効果	実現性	時間	採否
①	介護ソフト取り扱いの知識不足	介護ソフトの知識を向上	全介護職員がPC版『ほのぼの』操作を研修	チーフ職にPC版『ほのぼの』操作を研修	○	○	△	採用
②	文章作成能力の不足	AIを活用して文章を生成する	職員にAI活用の周知を行ない、AIに作文ミスの傾向を学習させる	文章作成方法の周知 誤字や文法ミスなどの洗い出しと集計	○	△	△	採用
③	作成時間が確保できない	月末に書類作成時間を確保する	ルーティン業務の分担・時間配分の見直し	月末のルーティン業務の洗い出し	○	○	○	採用

対策の実施

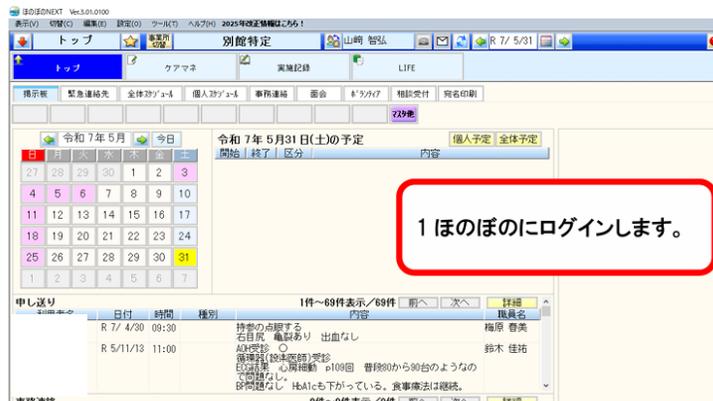
	対策項目	誰が	いつ	どこで	何を	どうする
①	介護ソフト取り扱いの知識不足	岩崎	5月末までに	介護課 PCにて	『ほのぼの』 PC版を	介護職員が扱えるようにする
②	文章作成能力の不足	岩崎 石居	5月末までに	介護課 PCにて	AIによる 文章作成を	介護職員ができるようにする
③	作成時間が確保できない	山崎 佐藤 齋藤	5月末までに	別館内にて	ルーティン 業務を	見直して事務時間を確保する

対策の実施①-1

介護ソフト『ほのぼの』の機能を理解するため、マニュアルを作成
月次報告書作成に必要な看護介護記録の出力方法について、
研修会を複数回実施

月次報告書 ほのぼの出力手順

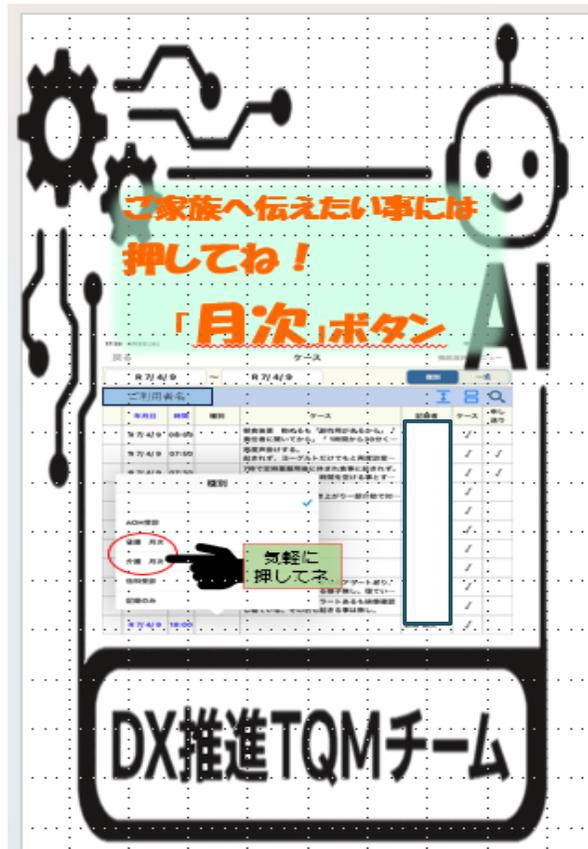
まずは1ヶ月分の看護介護記録を出力します。



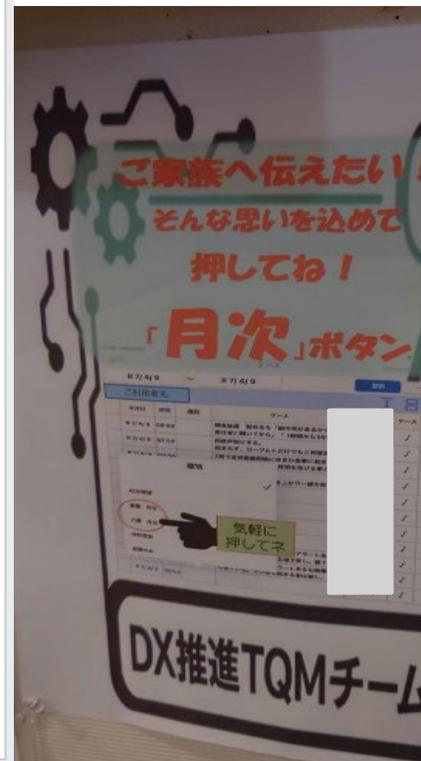
対策の実施①-2

① 「ほのぼの」で新たに設定した「月次」項目ボタンを活用する

②



③



17:39 4月9日(水) 戻る ケース 機能選択 メニュー

R 7 / 4 / 9 ~ R 7 / 4 / 9 個別 一覧

年月日	時間	種別	ケース	記録者	ケース	申し送り
R 7 / 4 / 9	08:00		朝食後薬 勤めるも「副作用があるから」「責任者に聞いてから」「1時間から30分く...		✓	
R 7 / 4 / 9	07:50		再度声掛けする。起きられず、ヨーグルトだけでもと再度訪室...		✓	✓
R 7 / 4 / 9	07:30		7時で定時薬服用後に休まれ食事に起きられず。時間を空ける事とす...		✓	✓
		種別			✓	
		AOH受診			✓	
		看護 月次			✓	
		介護 月次			✓	
		他科受診			✓	
		記録のみ			✓	
R 7 / 4 / 9	18:00		し寝ている。その後も起きる事は無し。		✓	

対策の実施②-1

職員の文章作成能力を補うため、ChatGPTの活用を提案
全職員に配布されているスマートフォンにアプリを入れ、
操作してみるよう促すも...



ChatGPTだ！
文章生成は任せ
てくれ！



なんだか
よくわからない...

対策の実施②-2

伊豆を楽しむ
レクを提案しよう！

レク用の
イラストは
いかがかな？

写真から塗り絵も
作れるさ！

ご入居者の人生に
時事ニュースを
組み合わせた年表を

カラオケレクの選曲なら
お任せあれ！

もしかして
楽しいツール
かも？

仕事の相談相手になろう！



対策の実施②-3

『ほのぼの』から出力した記録データ（.csv形式）を文章にする方法
について、ChatGPT研修会を実施

記録データから
瞬く間に文章を作ろう！



対策の実施③-1



対策の実施③-2



効果の確認

【看護からの記録】

5月はご本人にとって
されてお
センサーを
定期的に

使
分撮
られ

【介護】

5月
顔で話し
パッドを
応じて調
人と相談しながら無
に参加され、特に「
生活の中で小さな楽しみを見つけれ

介護職員の
作業時間を
0分に
することに
成功!!

の移動がりましたが、新しいお部屋でも落ち着いて過ご
した。移動当初は転倒リスクを考慮し、夜間
に解除さ
して如



*ダミーデータを基にした生成文章です

波及効果①

* 「月次ボタン」による波及効果

- 設定したことで、ご入居者の様子を職員も記憶しやすくなった
- 担当ご入居者以外にも「親身な対応」を心がけ、記録を残すようになった
- レク参加や受診の経過が追いやすくなり、よりご入居者の様子を映し出す報告書になった
- 「月次ボタン、押しといたよー」「これ、月次ボタンかな」といった職員のコミュニケーションの活性化になった

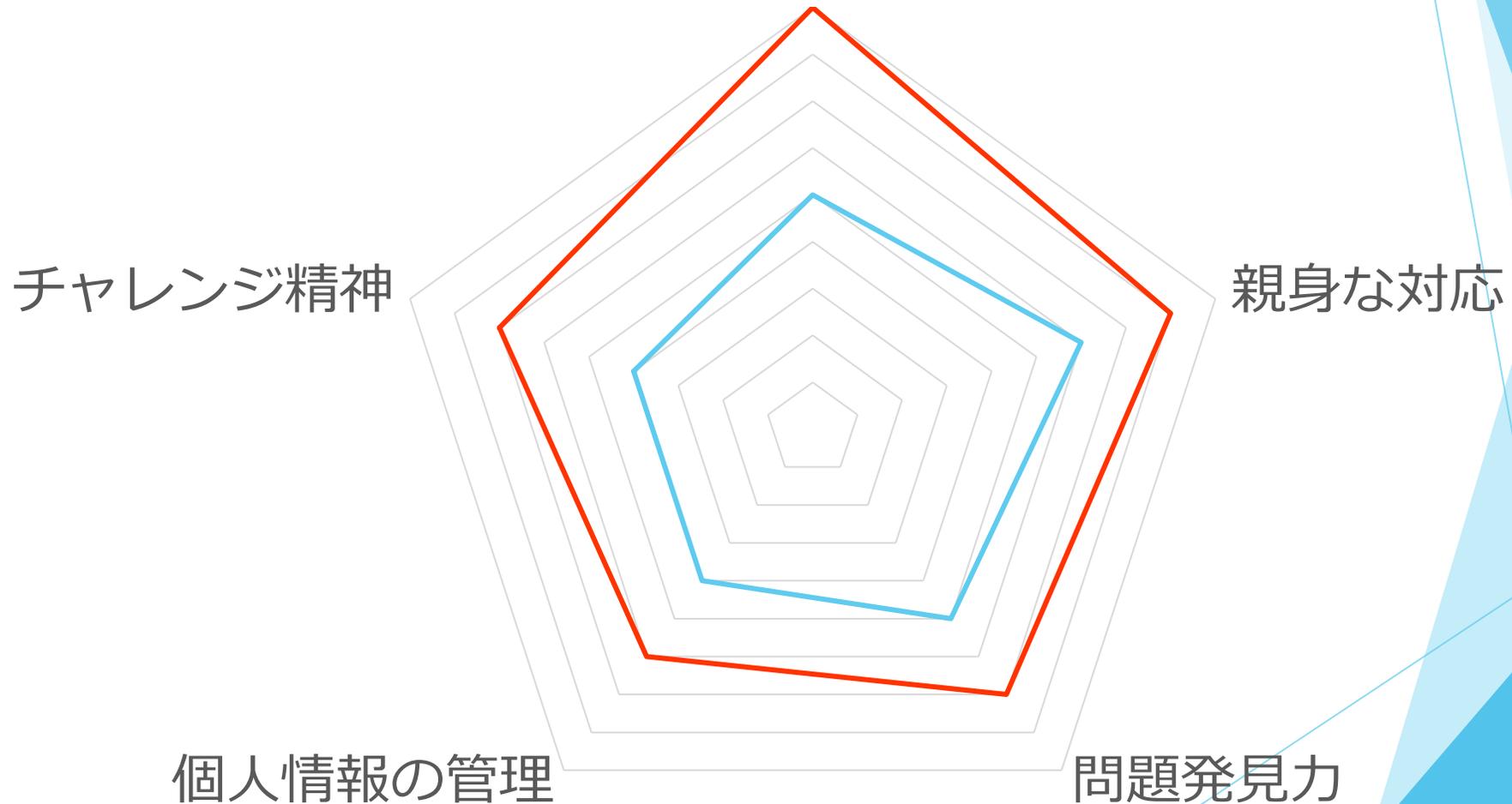
波及効果②

* 「AIの活用」による波及効果

- 月次報告書の修正件数（誤字・文法ミス）が減少した
（1枚約1.4ヶ所→1枚約0.1ヶ所）
- 介護×AIという組み合わせで、レクリエーションの
アイデア出しや使用するイラストを作成
- 営繕×AIという組み合わせで、汚れに対して適切な洗剤や
掃除用具を採用

無形効果

OUR TEAM



標準化と管理の定着

	何を	なぜ	誰が	いつ	何処で	どうする
標準化	報告書の	情報の充実のため	梅原・佐藤が	毎日	記録業務で	日常的に記録を行う声掛け
			山崎が	毎日	記録業務で	日常的に記録を行う声掛け
			記録担当者が	毎日	記録業務で	漏れなく入力する
教育	報告書の	AIのハルシネーション・誤字の防止のため	岩崎・石居が	毎月	ミーティングで	より良い入力方法の周知
管理の定着	報告書の	品質維持のため	岩崎・石居が	毎月	パソコン上で	プロンプトの確認
			梅原・佐藤が	毎月	書類上で	報告書内容を確認
			山崎が	毎月	書類上で	報告書内容を確認
			ホーム長が	毎月	書類上で	報告書内容を確認

反省と今後の進め方

	悪かった点	今後の進め方
<p>♪～貴方（ご家族）に～♪～</p> <p>テーマ</p>		様々な可能性を検証していく
<p>♪～この胸のときめきを～♪～</p> <p>活動計画</p>	若い職員が活動の主になっ	継続して行なっていく
<p>♪～限りない喜びよ～♪～</p> <p>現状把握と目標の設定</p> <p>職員アンケート</p>		
<p>♪～美しい人生よ～♪～</p> <p>要因解析</p> <p>バランスよくアイデアが出た</p>	「具体的な数字」や事例をもっと出したい 重要要因の洗い出しを綿密に行いたい	
<p>対策の立案と実施</p> <p>DXが苦手な職員も、強い興味を引くことができた</p>	DXに疎い職員は、初期段階でパソコンや『 ぼの』の機能を理解していくことに難航した	
<p>効果の確認</p> <p>事務の誤字脱字チェック時間を作成時間に変えるというアイデアを出せた</p>	業務負担の検証が必要	
<p>標準化と管理の定着</p> <p>DXは面白いという意見があった よりパソコンやChatGPTを活用してみたいという意見もあった</p>	日々の記録業務が報告書の品質の向上のカギなるので、記録を充実させる推進が必要	



ご清聴ありがとうございました

TEAM
あい
AIのメモリー